



国分寺小 校長室だより

椎しいの木こ陰かげ

～第1号～ 平成31年4月11日

平成31年度のスタートです。
どうぞよろしく願いいたします。

学校がスタートして、校庭で元気に遊ぶ子供たちの声が帰ってきました。『校長室だより』のタイトルは、『145年目』を迎える国分寺小学校『608名』の子ども達を毎日見守ってくれる椎の木を使った『椎の木陰（しいのこかげ）』です。

子ども達の日々の取組の様子を校長室だよりに載せて、できるだけ皆様にお届けしていきたいと思えます。



本年度、国分寺小学校長を拝命いたしました宮川長一（みやかわちよういち）です。今年度の定期異動で吉田西小学校から参りました。本校は、教頭時代にお世話になった学校でもあり、大変感慨深いものがあります。

3年間にわたりすばらしい経営力と指導力を発揮された倉井典子校長の熱い思いを引き継ぎ、至らない私ですが、子ども達の健全な成長のために誠心誠意力を尽くして参ります。よろしく願いいたします。

入学式の風景

〈粛々と進む式に感動〉



4月9日（火）に、入学式が挙行されました。91名の新入生は、呼名ではっきりとした返事を返し、立派な態度で入学式に望めました。これまでの幼稚園・保育園の指導がすばらしかったことがうかがい知れます。今後は、この姿を成長させ、『自分でできることは、何でも自分からする子』になれるよう支援してまいります。式では、下野市教育委員会教育長 池澤 勤様・本校PTA会長 稲葉啓介様より温かいお祝いと励ましの言葉をいただきました。また、6年生の古賀しおりさんが、優しさいっぱいにお迎えの言葉を述べました。国分寺小の入学式は、全校生児童（608名）が参加します。通常、この大所帯では、式中の多少のざわつきは仕方ないところですが、粛々と進められていく式に感動を覚えました。前日の準備に率先して活動に取り組んでいた高学年児童の姿の延長線上に本日の入学式があったことと考え合わせ、国分寺小学校の子ども達の素晴らしさの一端を垣間見た気がしました。

始業式にて



〈幸せに合える三つの言葉〉

始業式では、幸せに合える三つの言葉についてお話をしました。それは、『助け合える』『喜び合える』『褒め合える』です。そして、そういう学校にしていきたいと思いますと呼びかけました。

また、そういう人との関係を築くために自分自身に次の三つの約束をして欲しいとお話しをしま

した。『時を守り』『場を清め』『礼を正す』です。自分を見つめ、自他を慈しむ学校を目指して参ります。



異動してきた担任以外の教職員紹介

今年度、国分寺西小学校から参りました。子ども達とは、音楽の授業を通して関わらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

古沢誠一

主に六年生の算数のTTや2・5・6年生の図工・家庭科を受け持ちます。一人一人に寄り添った教育をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

淵岡美枝子

初任者研修指導教員として、勤務することになりました。国分寺小で、元気な子ども達と過ごせることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

鯉沼裕子

今年、石橋小学校より公士として異動してきました。校内外をきれいにしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

丸田典子

楽しくわかる授業づくりを目指しています。国分寺小の子、全員の名前を早く覚えたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

齋藤春江

本年度より生活支援員となりました。支援員1年目ですが、明るく元気いっぱい子ども達と学び過ごしていこうと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

高山敦実

吉田東小学校から異動して参りました。生活支援員として、皆さんが安心して過ごせるお手伝いできればうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

野口織恵